お元気ですか！
志村 たかよしです

第８３１号　2017年3月19日

日本共産党中央区議団
中央区　築地 １－１－１
電　話 ３５４６-５５６３
ＦＡＸ ３５４６-９５７０

南スーダンＰＫＯへの自衛隊派兵
安倍首相　５月末の撤収を表明

野党の追及と国民の世論と運動が追い込む

3月10日、政府は、国家安全保障会議（ＮＳＣ）を首相官邸で開き、南スーダンＰＫＯに派兵している陸上自衛隊を５月末に撤収させることを決めました。

安倍首相は撤収の理由について「自衛隊が担当しているジュバの施設整備が一定の区切りをつけることができると判断した」と述べ、菅官房長官も「治安の悪化を理由とするものではない」とごまかしていますが、陸上自衛隊が活動している首都ジュバの情勢悪化について国会で野党の追及を受けるとともに、国民の世論と運動が盛り上がるなかで撤収に追い込まれたというのが実態でしょう。

南スーダン問題を取り上げました。＝3/1

安倍政権の「狙い」が大破綻

安倍政権は、憲法９条を破壊する「戦争法（安保法制）」の最初の具体化として、昨年11月に派遣された第11次派遣部隊に「駆け付け警護」など新任務を付与しましたが、「海外で戦争する国」づくりの第一歩にするという狙いが、大破綻に追い込まれたことを示しています。

10日前の本会議で区長に質問

私は、３月１日の本会議で、南スーダンＰＫＯへの自衛隊派遣問題を取り上げ、南スーダンの深刻な現状や昨年７月にジュバで発生した大規模な武力衝突を「戦闘」と記入していた「日報」を隠ぺいしていた事実を示し、「南スーダンが事実上の内戦状態にあり、ＰＫＯ参加５原則は完全に崩れ去っているではないか」「ＰＫＯに派遣された自衛隊はすみやかに撤退すべきではないか」と区長の見解を問いました。

区長は、所信表明で「平和」を何度も口にしているにもかかわらず、「現地での武力衝突について様々な議論がなされていているのは承知している」「（撤収は）国の責任において適切な判断がなされる」と答えるだけで、批判的な見解は述べませんでした。

５月を待たず、すみやかに撤収を

南スーダンへのＰＫＯ派兵は２０１２年に始まり、今年１月で５年を迎えました。

施設部隊の隊員数は、約３５０人。第１次隊から第11次隊までのべ３８５４人にのぼります。

安倍首相は、派兵の誤りを認め、５月末を待たずにすみやかに撤収すべきです。

に参加しました

「野党はひとつに！」。前列右から民進党の長妻衆院議員、日本共産党の小池書記局長。私もどこかに。

3月13日、国会内で、東京の25の衆院小選挙区の市民と野党が集う「東京衆議院25小選挙区、市民と野党大集合！」（主催：市民と野党をつなぐ会@東京）が開催され、党区議団を代表して私が参加しました。

４２０人が集まったこの集会は、平和とくらしを守るために、野党共闘による衆議院選挙での勝利を目指す決意を固め合う目的で開かれました。

集会の参加者は４２０人。第２会場を設置するほどの盛況ぶりでした。

現在、東京２区を含む16の選挙区で市民の地域組織が結成されています。

各党を代表して、日本共産党の小池晃書記局長、民進党の長妻昭衆院議員、自由党の山本太郎共同代表、沖縄の風の糸数慶子参院議員らがあいさつしました。

小池書記局長は「共通の政策づくりを加速させる。候補者擁立にあたっては共産党の候補を一方的に降ろすことは考えていない。相互支援、相互推薦の立場で臨み、政権の合意も作っていきたい」と述べました。

各党代表者と衆院予定候補を囲んで写真撮影が行われた後、主催者からの報告、市民連合や各界からの連帯のあいさつ、東京各地の地域市民組織からの報告、千葉、神奈川、埼玉からのあいさつと報告などがありました。

あいさつする小池書記局長

ブログもごらんください　志村たかよしワールド　検索

ご意見、ご要望など、お気軽にご連絡ください（3536－6309）